

孀恋村巨樹・巨木・名木調査

平成15年7月調査

番号	名称	樹木名	推定樹齡	状況	処置状況
1	熊川家のイチイ	イチイ	400年 350cm	正常	枯れ枝の整理伐採
2	鎌原神社のカツラ	カツラ	250年 360cm	不良	外科手術
3	鎌原神社のケヤキB	ケヤキ	350年 420cm	正常	枯れ枝の整理伐採
4	鎌原神社のケヤキC	ケヤキ	350年 470cm	正常	枯れ枝の整理伐採
5	鎌原神社のカエデ	カエデ	250年 240cm	正常	枯れ枝の整理伐採
6	鎌原神社のモミ	モミ	250年 310cm	正常	枯れ枝の整理伐採
7	大前のこうの木	カツラ	300年 550cm	正常	枯れ枝の整理伐採
8	鳴尾の熊野神社 大スギ	スギ	900年 750cm	正常	枯れ枝の整理伐採終了
9	熊野神社のケヤキ	ケヤキ	200年 300cm	不良	外科手術
10	熊野神社のカラマツ	カラマツ	300年 320cm	正常	枯れ枝の整理伐採
11	下屋家のイチイ	イチイ	500年 430cm	正常	枯れ枝の整理伐採
12	下屋家のモミ	モミ	200年 210cm	不良	樹幹に腐朽があり外科手術
13	下屋家のケヤキA	ケヤキ	200年 300cm	正常	枯れ枝の整理伐採
14	下屋家のケヤキB	ケヤキ	200年 240cm	正常	枯れ枝の除去伐採
15	三原神社のアカマツ	アカマツ	150年 270cm	正常	処置無用
16	円通殿のイチイ	イチイ	500年 360cm	不良	外科手術
17	諏訪神社コナラB	コナラ	300年 350cm	正常	枯れ枝の整理伐採
18	諏訪神社コナラA	コナラ	250年 380cm	正常	
19	諏訪神社トチノキ	トチノキ	200年	正常	防腐剤の塗布

20	諏訪神社カエデ	カエデ	350cm 150年	正常	
21	吾妻山神社のヒノキ	ヒノキ	200cm 350年	不良	樹幹の腐朽が進行すれば伐採
22	吾妻山神社のケヤキ	ケヤキ	380cm 200年	不良	外科手術
23	吾妻山神社のモミ	モミ	320cm 250年	正常	
24	吾妻山神社のミズナラ	ミズナラ	290cm 200年	正常	
25	吾妻山神社のクリ	クリ	310cm 200年	正常	
26	田代大山祇神社ケヤキ	ケヤキ	260cm 400年	正常	枯れ枝の整理伐採
27	田代鳥居峠のブナ	ブナ	370cm 300年	正常	外科処置
28	大笹神社のクリ	クリ	370cm 300年	不良	外科手術
29	大笹幼稚園のコナラ	コナラ	340cm 250年	正常	
30	万座のキタゴヨウマツ	五葉松	330cm 500年	正常	処置無用
31	万座 有料道路沿	カラマツ	510cm 250年	正常	枯れ枝の整理伐採
32	今井諏訪神社のマツ	マツ	240cm 200年	正常	
33	今井のマキ	マキ	225cm 100年	正常	
34	今井諏訪神社のカマツ	カラマツ	160cm 150年	正常	
35	今井分校のサクラ	サクラ	245cm 100年	正常	
36	今井諏訪神社のスギ	スギ	300cm 200年	正常	
			360cm		

孀恋村の巨樹・巨木

1．熊川家のイチイ

目通り周 350cm 樹高 16m 推定樹齡 400 年
枝張り東×西 5.5×5.0m 南×北 6.3×5.0m
孀恋村大字今井字上前原



樹勢はきわめて旺盛である。枝ぶりも均整がとれている。群馬県指定物件よりやや大きい。

2．鎌原神社のカツラ

目通り周 360cm 樹高 23m 推定樹齡 250 年
枝張り東×西 10.0×8.5m 南×北 7.0×10.0m
孀恋村大字鎌原字宅地東 398



樹幹の地上部に腐朽があり、剪定後の枯れ枝が残っている。樹型は乱れて枝ぶりは均等でない。

3．鎌原神社のケヤキ B

目通り周 420cm 樹高 24m 推定樹齡 350 年
枝張り東×西 11.5×11.5m 南×北 12.0×10.0m
孀恋村大字鎌原字宅地東 398



枝下は 8 m あり、上は 2 本の主幹に分かれている。全体に樹勢は旺盛で、枝先が枯れたものが少数ある。孀恋村調査のケヤキでは 2 番目に大きい。

4．鎌原神社のケヤキ C

目通り周 470cm 樹高 25m 推定樹齡 350 年
枝張り東×西 8.0×5.0m 南×北 6.0×10.0m
孀恋村大字鎌原字宅地東 398



2 本の木が合着したものと思われ地上 3 m までが 1 本となっている。樹勢は旺盛で、村内調査の中では最大の目通り周であるが、県指定で最大のものは 10m 程度あり、国指定では 15 m のものがある。

5. 鎌原神社のカエデ

目通り周 240cm 樹高 18m 推定樹齡 250 年
枝張り東×西 6.0×7.0m 南×北 3.0×6.0m
孀恋村大字鎌原字宅地東 398



樹勢は旺盛である。県指定では目通り周 2.5m のものがあり、国指定では 5.2m のものがある。カエデは本来、大径木と成らないので本件は、かなり太いと考えられる。

6. 鎌原神社のモミ

目通り周 310cm 樹高 34m 推定樹齡 250 年
枝張り東×西 3.5×5.0m 南×北 3.5×5.0m
孀恋村大字鎌原字宅地東 398



樹勢は極めて旺盛であり、通直である。枝下は約 10m ある。県指定では、目通り周 750cm のものがある。このモミは調査物件中最も大きい。

7. 大前のこの木

目通り周 550cm 樹高 23m 推定樹齡 300 年
枝張り東×西 8.0×9.0m 南×北 10.5×7.5m
孀恋村大字大前字北村 232-2



樹種はカツラである。この地方では、神に捧げる木として榊の代わりにこの木を使うことが多い。樹勢も旺盛で枯れ枝もない。県内には指定物件はないが、カツラは大径木となる性質があり、国指定のものでは 16m のものがある。

8. 鳴尾の熊野神社の大スギ

目通り周 750cm 樹高 36m 推定樹齡 900 年
枝張り東×西 8.0×7.0m 南×北 7.0×6.5m
孀恋村大字門貝字鳴尾



樹勢は極めて旺盛である。県指定のスギの中では最上位に近い目通り周のまのである。孀恋村では唯一の県指定の物件である。

9 . 熊野神社のケヤキ

目通り周 300cm 樹高 23m 推定樹齡 200 年
枝張り東×西 7.0×6.0m 南×北 8.0×7.5m
孀恋村大字門貝字鳴尾



樹勢は旺盛で樹冠は周辺の林層より上に広がりケヤキらしく箒状を呈している。腐朽があるかは再調査が必要である。

10 . 熊野神社のカラマツ

目通り周 320cm 樹高 32m 推定樹齡 300 年
枝張り東×西 5.0×7.5m 南×北 7.5×4.5m
孀恋村大字門貝字鳴尾



樹勢は極めて旺盛で通直である。県内にカラマツの指定物件はないが、他県指定の物件に比べると目通り周 250cm が最大であり、それに比べるとかなり大きい。

11 . 下屋家のイチイ

目通り周 430cm 樹高 16m 推定樹齡 500 年
枝張り東×西 6.0×5.6m 南×北 7.0×9.7m
孀恋村大字三原字天神



樹勢は極めて旺盛であり枝張りも良好で均整のとれた形をしている。この地域ではイチイが多く認められ、調査物件として最大である。イチイでは、県内の指定物件(目通り周 3m 程度)のいずれよりも大きい。国指定物件では、目通り周 6.5m のものがある。

12 . 下屋家のモミ

目通り周 210cm 樹高 24m 推定樹齡 200 年
枝張り東×西 5.3×3.8m 南×北 6.5×7.3m
孀恋村大字三原字馬場



地際より二股となり、樹幹に腐朽が入っている。そのため樹冠は折損している。他にケヤキも隣接してあり手狭な道路沿いに立っているため、樹木の生存環境はよくない。

13. 下屋家のケヤキ A

目通り周 300cm 樹高 23m 推定樹齡 200 年
枝張り東×西 9.9×13.9m 南×北 14.3×11.2m
孀恋村大字三原字馬場



モミ、ケヤキ B と共に道路沿いに立っている。その中でも最も樹勢が旺盛で、枝張りも優れている。急坂地に立っているため道路側の枝張りが露出し力量感があるが、将来やや不安定な感じがする。

14. 下屋家のケヤキ B

目通り周 240cm 樹高 23m 推定樹齡 200 年
枝張り東×西 2.7×11.8m 南×北 4.5×10.9m
孀恋村大字三原字馬場



ケヤキ、モミと共に道路沿いにある。腐朽した枝があり、枯れ枝もやや多く不安定である。

15. 三原神社のアカマツ

目通り周 270cm 樹高 25m 推定樹齡 150 年
枝張り東×西 5.0×4.0m 南×北 6.0×3.0m
孀恋村大字三原字上ノ原



三原神社の境内は、アカマツの純林となっている。その中で代表的な太いマツがこの樹である。極めて通直性がよく樹勢も旺盛である。枝下高が約 15m あり、樹型も優れている。

奥に広がる松林は極めて良好な林部でマツクイムシの被害が多い昨今では貴重な環境と考えられるので、本件のマツを含め良好なマツの環境地域として保存していきたい。

16. 円通殿のイチイ

目通り周 360cm 樹高 23m 推定樹齡 500 年
枝張り東×西 7.0×4.5m 南×北 9.0×6.0m
孀恋村大字干保 1320



直通で樹勢も旺盛である。樹幹下部にキズがあり腐朽菌が侵入しているものと思われる。

下屋家のイチイに及ばないが、県指定物件より大きい。

17. 諏訪神社のコナラ B

目通り周 350cm 樹高 23m 推定樹齢 300 年
枝張り東×西 10.0×8.0m 南×北 6.0×13.0m
嬭恋村大字干俣字大沼 365



樹勢は旺盛で病虫害はない。主幹は通直であるが、林内が暗く枝下高が大きい。群馬県内の指定物件はないが、他県のものでは目通り周が7mを越すものがある。

18. 諏訪神社のコナラ A

目通り周 380cm 樹高 34m 推定樹齢 250 年
枝張り東×西 14.0×5.5m 南×北 6.5×9.5m
嬭恋村大字干俣字大沼 365



樹幹は45度傾いているが樹勢は旺盛で腐朽も入っていないので、今後は正常に生育するものと思われる。

19. 諏訪神社のトチノキ

目通り周 350cm 樹高 29m 推定樹齢 200 年
枝張り東×西 8.5×8.0m 南×北 12.0×10.0m
嬭恋村大字干俣字大沼 365



樹勢は良好であるが、地際部の根が露出した部分に小さな軟質菌の子実体が固まって発生している。サルノコシカケ菌ではないので腐朽力の程度は不明であるが、殺菌剤を塗布する必要がある。

トチノキは大木となる性質があり、国や県指定のもので目通り周 10m 近いものがある。群馬県では指定されたものはない。

20. 諏訪神社のカエデ

目通り周 200cm 樹高 18m 推定樹齢 150 年
枝張り東×西 5.0×3.0m 南×北 5.0×5.0m
嬭恋村大字干俣字大沼 365



樹勢は良好である。カエデとしては、目通り周が大きい。

2 1 . 吾妻神社のヒノキ

目通り周 380cm 樹高 15m 推定樹齢 350 年
枝張り東×西 4.5×1.5m 南×北 5.0×3.0m
嬭恋村大字田代字堰下 34



樹幹に大きな腐朽部があり、途中から切断されている。切断部の下から枝が新生しようやく成立している。新生枝の直上から再切断し殺菌剤を塗布するのがよい。

2 2 . 吾妻山神社の大ケヤキ

目通り周 320cm 樹高 25m 推定樹齢 200 年
枝張り東×西 7.5×10.0m 南×北 9.5×9.5m
嬭恋村大字田代字堰下 34



腐朽した部分があり、樹勢は余りよくない。周辺の木立を伐採し日当たりを良くする必要がある。

2 3 . 吾妻山神社のモミ

目通り周 290cm 樹高 25m 推定樹齢 250 年
枝張り東×西 4.0×4.0m 南×北 6.0×5.0m
嬭恋村大字田代字堰下 34



主幹の 10m 上部は折損し、その両脇から枝が新生している。すぐ隣接する腐朽したヒノキの梢端を支えるワイヤーが樹の主幹に巻き付けられている。目通り周は鎌原神社のモミに次いで大きいですが、痛みがある。

2 4 . 吾妻神社のミズナラ

目通り周 310cm 樹高 23m 推定樹齢 200 年
枝張り東×西 10.0×6.0m 南×北 6.0×5.0m
嬭恋村大字田代字堰下 34



樹勢はよいがすぐ脇にあるフジツルが巻きついている。フジを別の樹に誘導し、この木と切り離す方法が考えられないか。

25. 吾妻山神社のクリ

目通り周 260cm 樹高 10m 推定樹齢 200 年
枝張り東×西 6.0×2.0m 南×北 2.0×6.0m
嬭恋村大字田代字堰下 34



樹幹は45度北東に傾いている。樹幹南西面には地際部から上方に向かって長い溝状の窪みができて腐朽している。これらは治療する必要がある。

26. 大山祇神社おおやまぎじんじやのケヤキ

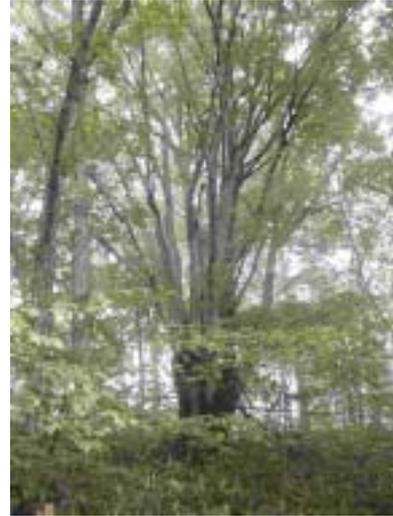
目通り周 370cm 樹高 30m 推定樹齢 400 年
枝張り東×西 8.0×9.0m 南×北 10.0×5.0m
嬭恋村大字田代字滝ノ山



樹勢は旺盛であるが道路に近く、また参道の石段や鳥居も根元にあり手狭である。

27. 鳥居峠のブナ

目通り周 375cm 樹高 20m 推定樹齢 300 年
枝張り東×西 7.0×6.0m 南×北 8.0×5.0m
嬭恋村大字田代吾妻山国有林内



樹幹の地際部に大きな腐朽部がありその上から枝が多く分かれている。このあたりは標高1,300m程でブナの生育限界と考えられ、将来巨樹としての価値が保てるか疑問である。

28. 大笹神社のクリ

目通り周 340cm 樹高 15m 推定樹齢 300 年
枝張り東×西 5.0×3.0m 南×北 6.0×5.0m
嬭恋村大字大笹字塩の島 176



樹幹に腐朽菌が入り枯れ枝が目立つ。特に梢端は枯れたため折断されていると思われる。

29 . 大笹幼稚園のコナラ

目通り周 310cm 樹高 25m 推定樹齡 250 年
枝張り東×西 6.0×4.0m 南×北 4.0×6.0m
孀恋村大字大笹字塩の島 176



めて力強い樹形を持ち、端正な感じを与える。幹の色は黒々として、濃い緑の樹冠と調和している。冬には広いゲレンデとリフトの風景に衣服の清涼感を与えるものと思われる。県内で指定されている物件は2件有り、目通り周が370、230cmで本件ははるかに大きい。

樹勢は旺盛である。

30 . 万座のキタゴヨウマツ

目通り周 510cm 樹高 25m 推定樹齡 500 年
枝張り東西 19.8m 南北 17.0m
孀恋村大字干俣熊四郎国有林内



本樹は、標高1800mの雪深い山地で、厳しい環境条件のもとで、長く成長を遂げ、太い根元はどっかと大地に根を下ろして安定した極